

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いについて、定期的な会議の報告などは行っているが、積極的に情報発信ができていない。	地域に向けて情報発信を行い、地域の一員として日常的に交流ができる。	物見山3丁目町内会への加入 幸栄町、物見山3丁目に向けて地域の広報誌作りを定期的に行う。	12ヶ月
2	25	火災についての訓練のみで地震水害時の訓練ができていない。町内会とはコロナ禍や町内の高齢化率が高いこともあり、地域との協力体制が未だできていない。	自然災害BCPをもとにシミュレーション・研修を行う。コロナ感染状況を踏まえながら、町内の方と協力ができる基盤を作る。	事業計画に火災訓練以外の自然災害訓練を計画する。職員が積極的に外に出て地域の方と関わりを持つ機会を作る。	12ヶ月
3	7	職員は日常生活自立支援事業や青年後見人制度について学ぶ機会がなく、個々の必要性を関係者と話し合う機会がない。	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を作り、利用者に必要があれば関係者に提案することができる。	研修計画に日常生活自立支援事業や成年後見人制度についての研修を取り入れ、事例についても検討を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。